

野菜の需給・価格動向レポート(平成30年11月19日版)

1 主要野菜の生産出荷状況

※・レポートの読み方については、注意書きを参照してください

種類	10月の価格情報		11月の価格情報		11月上旬の関東及び近畿ブロックの入荷量()内は、本年と過去3カ年平均値との比率	12月の主産地	生育及び価格の12月上旬までの見通し			
	(参考)保証基準額の算定の基となる平均価格	指定野菜の関東・近畿ブロック旬別平均販売価額		(参考)保証基準額の算定の基となる平均価格			11月上旬	平均価格	現時点の価格水準	
		中旬	下旬							
葉茎菜類	キャベツ	77.90	74 (95%)	89 (114%)	72.93 (126%)	92 (123%)	・8.034t	愛知(49)、千葉(27)	愛知産は、台風24号の影響により一部に塩害がでていることから、現在の出荷は平年を下回っているものの、最近の好天により生育は回復していることから、今後は平年並みの出荷の見込み。千葉産は、台風24号の影響により一部に塩害がでていることから、引き続き平年を下回る出荷の見込み。	
		88.91	77 (87%)	101 (114%)	76.91 (135%)	104 (95%)	・1.793t	愛知(49)、茨城(16)		群馬産の切り上がりに伴い10月下旬から徐々に値を上げて現在平均を上回る価格は、千葉産の出荷が平年を下回ると見込まれるものの、愛知産の出荷が平年並みと見込まれることから、現在平均を上回っている価格は、平均に近づくものの、引き続き平均を上回って推移する見込み。
	たまねぎ	81.54	90 (110%)	89 (109%)	81.54 (114%)	93 (85%)	・6.952t	北海道(95)	北海道産は、収穫作業は終了し、貯蔵ものの計画的な出荷となっている中で、傷みによる商品化率の低下に伴う出荷計画の見直しがあったことから、引き続き平年を下回る出荷の見込み。北海道産の出荷が平年を下回ると見込まれることから、現在平均を上回る価格は、引き続き平均を上回って推移する見込み。	
		81.54	95 (117%)	96 (118%)	81.54 (118%)	96 (93%)	・3.307t	北海道(84)		
	ねぎ (関東は白ねぎ、近畿は青ねぎ)	136.25	380 (279%)	325 (239%)	136.25 (237%)	323 (94%)	・2.432t	千葉(25)、茨城(17)、埼玉(16)	千葉県は、夏場の高温・小雨や台風24号の影響で一部が生育不良であることから、引き続き平年を下回る出荷の見込み。茨城産は、台風24号の影響により倒伏や折損により正品率が下がっていることから、引き続き平年を下回る出荷の見込み。埼玉産は、順調な生育であることから、引き続き平年並みの出荷の見込み。	
		467.01	815 (175%)	749 (160%)	467.01 (128%)	598 (96%)	・138t	徳島(20)、香川(14)、奈良(14)		埼玉産の出荷が平年並みと見込まれるものの、千葉県及び茨城産の出荷が平年を下回ると見込まれることから、現在平均を上回る価格は、引き続き平均を上回って推移する見込み。
	はくさい	86.06	82 (95%)	79 (92%)	42.34 (156%)	66 (114%)	・7.078t	茨城(96)	茨城産は、台風24号の影響により生育が遅延して小玉傾向であったことから、現在の出荷は平年を下回っているものの、最近の好天により生育は回復していることから、今後は平年並みの出荷の見込み。茨城産の出荷が平年並みと見込まれることから、現在平均を上回っている価格は、今後は平均並みで推移する見込み。	
		88.72	80 (90%)	86 (97%)	55.95 (134%)	75 (128%)	・2.924t	茨城(56)、和歌山(7)		
	ほうれんそう	423.62	631 (149%)	565 (133%)	423.62 (101%)	429 (101%)	・978t	群馬(37)、茨城(32)	群馬産及び茨城産は、順調な生育であることから、現在の出荷は平年並みであるものの、最近の好天により生育が前進していることから、今後は平年を上回る出荷の見込み。台風24号の影響により10月上旬に価格は大幅に上昇し、その後出荷量の増加に伴い、徐々に値を下げ現在平均並みの価格は、群馬産及び茨城産の出荷が平年を上回ると見込まれることから、今後は平均を下回って推移する見込み。	
		507.91	774 (152%)	712 (140%)	507.91 (108%)	550 (108%)	・311t	福岡(34)、徳島(22)		
	レタス(結球)	158.27	157 (99%)	167 (106%)	143.63 (107%)	153 (99%)	・3.104t	静岡(32)、茨城(19)	静岡県及び茨城産は、順調な生育であることから、引き続き平年並みの出荷の見込み。静岡県及び茨城産の出荷が平年並みと見込まれることから、現在平均並みの価格は、引き続き平均並みで推移する見込み。	
		152.57	167 (109%)	182 (119%)	154.61 (114%)	177 (94%)	・993t	兵庫(36)、長崎(32)		
果菜類	きゅうり	289.03	377 (130%)	412 (143%)	289.03 (113%)	327 (118%)	・3.613t	宮崎(35)、千葉(20)	宮崎産及び千葉産は、11月以降の好天により順調な生育であることから、引き続き平年並みの出荷の見込み。11月に入り出荷量が増加し値を下げ現在平均並みの価格は、宮崎産及び千葉産の出荷が平年並みと見込まれることから、引き続き平均並みで推移する見込み。	
		298.96	403 (135%)	426 (142%)	298.96 (111%)	332 (111%)	・988t	宮崎(39)、高知(22)		
	トマト(大玉)	364.78	392 (107%)	460 (126%)	364.78 (130%)	474 (88%)	・2.763t	熊本(41)、愛知(17)	熊本産及び愛知産は、10月上旬までの曇天で花付きがやや悪いことに加え、同月中旬以降は気温が低めに推移して着色不足や生育が遅延していることから、引き続き平年を下回る出荷の見込み。熊本産及び愛知産の出荷が平年を下回ると見込まれることから、現在平均を上回っている価格は、引き続き平均を上回って推移する見込み。	
		371.67	409 (110%)	469 (126%)	371.67 (132%)	492 (68%)	・745t	熊本(74)		
	なす	301.00	395 (131%)	398 (132%)	301.00 (122%)	367 (122%)	・1.255t	高知(84)	高知産は、順調な生育であることから、引き続き平年並みの出荷の見込み。関東産が台風24号の影響で切り上がりが早まり、現在平均を上回っている価格は、今後高知産の出荷割合が増加する中、高知産の出荷が平年並みと見込まれることから、今後は平均並みで推移する見込み。	
		263.21	400 (152%)	422 (160%)	263.21 (145%)	382 (145%)	・493t	高知(40)、熊本(26)		
	ピーマン	276.76	431 (156%)	537 (194%)	378.83 (135%)	513 (135%)	・1.075t	宮崎(40)、茨城(27)	茨城産は、10月上旬までの曇天で花落ちしていることに加え、中旬以降の気温の低下に伴って生育が遅延していることから、現在の出荷は平年を下回るものの、最近の好天により生育が回復していることから、今後は平年並みの出荷の見込み。宮崎産は、台風24号の影響で一部のハウスが倒壊したり、浸水被害で再定植になっていることから、引き続き平年を下回る出荷の見込み。宮崎産の出荷が平年を下回ると見込まれるものの、茨城産の出荷が平年並みと見込まれることから、現在平均を上回っている価格は、平均に近づくものの、引き続き平均を上回って推移する見込み。	
		296.27	479 (162%)	578 (195%)	371.29 (135%)	500 (135%)	・523t	宮崎(33)、鹿児島(30)		
	根菜類	だいこん	67.55	83 (123%)	89 (132%)	67.55 (104%)	70 (104%)	・4.992t	千葉(50)、神奈川(41)	千葉県及び神奈川産は、台風24号の影響で一部に塩害が発生していたものの、その後の好天により生育は回復していることから、引き続き平年並みの出荷の見込み。千葉県及び神奈川産の出荷が平年並みと見込まれることから、現在平均並みの価格は、引き続き平均並みで推移する見込み。
			76.48	92 (120%)	104 (136%)	76.48 (111%)	85 (111%)	・2.556t	長崎(30)、和歌山(24)	
		にんじん	123.08	193 (157%)	201 (163%)	105.86 (196%)	208 (196%)	・3.071t	千葉(82)	千葉県は、播種後の強風による欠株や高温による品質低下に加え、台風24号の影響により塩害が発生している中、最近の好天により回復傾向にあるものの、引き続き平年を下回る出荷の見込み。千葉産の出荷が平年を下回ると見込まれることから、現在平均を上回っている価格は、引き続き平均を上回って推移する見込み。
			123.11	195 (158%)	207 (168%)	104.49 (200%)	209 (129%)	・1.596t	長崎(60)、鹿児島(17)	

注：1 平均価格は、過去6カ年(平成23～28年)の関東及び近畿ブロックの中央卸売市場の各指定野菜の卸売価格を物価指数で修正した価格の平均(消費税は除く)であり、保証基準額の算定の基となる価格であることから、農林水産省で公表している「野菜の生育状況及び価格見通し」における平均価格(平成25～29年)とは異なる。
2 旬別平均販売価額の赤字及び青の背景は平均価格と比較して150%以上のもの、赤字及び赤の背景は保証基準額(平均価格の90%)を下回るもの(消費税は除く)であるが、必ずしも事業が発動するとは限らないため、あくまで参考である。
3 単位は円/kg、上段は関東、下段は近畿ブロック。
4 主産地は、東京都及び大阪府中央卸売市場への出荷の多い県名。()内は入荷シェアで平成29年実績である。
5 コメントは、都道府県、出荷団体、都道府県野菜価格安定法人、卸売会社等からの聴き取りをもとに機構が作成したもの。
6 関東・近畿ブロック以外の平均販売価額は、機構HPに掲載している(下記URLを参照)。
URL : https://www.alic.go.jp/y-kofu/yagyomu02_000019.html

1 主要野菜の生産出荷状況

種類	10月の価格情報				11月の価格情報		11月上旬の関東及び近畿ブロックの入荷量()内は、本年と過去3カ年平均値との比率	12月の主産地	生育及び価格の12月上旬までの見通し	「図の見方」 平均価格 現時点の価格水準 平均価格(点線)は、レポート期間中に変動する場合があります。
	(参考)保証基準額の算定の基となる平均価格	指定野菜の関東・近畿ブロック旬別平均販売価格		(参考)保証基準額の算定の基となる平均価格	指定野菜の関東・近畿ブロック旬別平均販売価格	11月上旬				
		中旬	下旬							
いも類	さといも	232.02	287	273	232.02	247	・568t (94%)	埼玉(58)、千葉(17)		埼玉産は、順調な生育であることから、引き続き平年並みの出荷の見込み。千葉産は、7月中旬以降の高温・少雨により一部が生育不良となっていることに加え、9月以降の曇雨天により病害が発生していることから、引き続き平年を下回る出荷の見込み。 埼玉産の出荷が平年並みと見込まれるものの、千葉産の出荷が平年を下回ると見込まれることから、現在平均を上回っている価格は、引き続き平均を上回って推移する見込み。
		(124%)	(118%)	(106%)						
	228.44	330	280	228.44	278	・192t (101%)	愛媛(50)、福井(21)		北海道産は、収穫作業は終了し、貯蔵ものの計画的な出荷となっている。6月下旬以降の長雨・日照不足や7月中旬以降の高温・少雨の影響により一部が小玉傾向となっていることから、引き続き平年を下回る出荷の見込み。 北海道産の出荷が平年を下回ると見込まれることから、現在平均を上回る価格は、引き続き平均を上回って推移する見込み。	
	(144%)	(123%)	(122%)							
ばれいしょ	92.33	109	107	92.33	109	・3,342t (92%)	北海道(80)		北海道産の出荷が平年を下回ると見込まれることから、現在平均を上回る価格は、引き続き平均を上回って推移する見込み。	
	(118%)	(116%)	(118%)							
		92.33	104	104	92.33	105	・1,426t (100%)	長崎(54)、北海道(46)		
		(113%)	(113%)	(114%)						

注：1 平均価格は、過去6カ年(平成23～28年)の関東及び近畿ブロックの中央卸売市場の各指定野菜の卸売価格を物価指数で修正した価格の平均(消費税は除く)であり、保証基準額の算定の基となる価格であることから、農林水産省で公表している「野菜の生育状況及び価格見通し」における平年価格(平成25～29年)とは異なる。
2 旬別平均販売価格の赤字及び青の背景は平均価格と比較して150%以上のもの、太字及び赤の背景は保証基準額(平均価格の90%)を下回るもの(消費税は除く)であるが、必ずしも事業が発動するとは限らないため、あくまで参考である。
3 単位は円/kg、上段は関東、下段は近畿ブロック。
4 主産地は、東京都及び大阪府中央卸売市場への出荷の多い県名。()内は入荷シェアで平成29年実績である。
5 コメントは、都道府県、出荷団体、都道府県野菜価格安定法人、卸売会社等からの聴き取りをもとに機構が作成したものである。
6 関東・近畿ブロック以外の平均販売価格は、機構HPに掲載している(下記URLを参照)。
URL: https://www.alic.go.jp/y-kofu/yagyomu02_000019.html

1 主要野菜の生産出荷状況(特定野菜)

種類	10月の価格情報				11月の価格情報		11月上旬の東京及び大阪市場の入荷量()内は、本年と過去3カ年平均値との比率	12月の主産地	生育及び価格の12月上旬までの見通し	「図の見方」 平均価格 現時点の価格水準 平均価格(点線)は、レポート期間中に変動する場合があります。
	(参考)保証基準額の算定の基となる平均価格	東京都・大阪市場の旬別価格		(参考)保証基準額の算定の基となる平均価格	東京都・大阪市場の旬別価格	11月上旬				
		中旬	下旬							
洋菜類	ブロッコリー	286.55	459	455	286.55	371	・797t (149%)	埼玉(22)、愛知(21)		埼玉産は、順調な生育であることから、引き続き平年並みの出荷の見込み。愛知産は、台風24号の影響で一部に塩害が発生していたものの、その後の好天により生育は回復していることから、引き続き平年並みの出荷の見込み。 10月中旬以降出荷量の増加にともない徐々に値を下げ現在平均並みの価格は、埼玉産及び愛知産の出荷が平年並みと見込まれることから、引き続き平均並みで推移する見込み。
		(160%)	(159%)	(129%)						
	357.11	490	517	357.11	469	・208t (135%)	徳島(30)、北海道(17)			
	(137%)	(145%)	(131%)							

注：1 平均価格は、過去5カ年(平成25～29年)の東京都及び大阪府中央卸売市場の価格。
2 旬別価格は、上段は東京都中央卸売市場、下段は大阪府中央卸売市場であり、単位は円/kgである。
3 旬別価格の赤字及び青の背景は、平均価格と比較して150%以上のもの、太字及び赤の背景は平均価格を80%を下回るもの(消費税は除く)であるが、必ずしも事業が発動するとは限らないため、あくまで参考である。
4 主産地は、東京都及び大阪府中央卸売市場への出荷の多い県名。()内は入荷シェアで平成29年実績である。
5 コメントは、都道府県、出荷団体、都道府県野菜価格安定法人、卸売会社等からの聴き取りをもとに機構が作成したものである。
6 関東・近畿ブロック以外の平均販売価格は、機構HPに掲載している(下記URLを参照)。
URL: https://www.alic.go.jp/y-kofu/yagyomu02_000019.html

●問い合わせ先 独立行政法人農畜産業振興機構 野菜需給部 需給業務課 斎藤、山田、長島 TEL03-3583-9793、FAX03-3583-9484 ご意見、ご要望をお寄せください。

◆「野菜の需給・価格動向レポート」は月2回公表しています。公表時にメルマガでお知らせしますので、ご希望の方は当機構のホームページのトップ画面、メールマガジンから登録してください。

★この「野菜の需給・価格動向レポート」は、http://vegetan.alic.go.jp/vegetable_report.htmlに掲載しています。

※無断転載禁ず ・レポートに記載された情報をご利用になったことにより生じたいかなる損害に関して、当機構は一切の責任を負いません。